

## V 本年度の研究課題

### 〔研究主題〕 よりよい生き方を目指して主体的に学び活動する子どもの育成

わたしたちは、子どもをしっかりと見つめ、一人一人が自分自身を確立しながら、よりよい生き方を目指して主体的に学び活動できる子どもにと願っている。

「よりよい生き方」とは、次のように考える。

自分のもちうる能力や個性を十分発揮しながら生活すること  
子ども一人一人が自分なりの考えや課題をもち、目を輝かせながら生き生きと取り組むこと  
コミュニケーション能力を身につけ、周りの人々と人間関係を円滑に保つことができること

本校では、「生きる力としてはたらく国語力の育成」という国語教育の研究主題をあげている。国語教育を中心として、子どもたちが授業を通して取得した国語力を日常生活の場で生きてはたらく力として発揮することで、上記の子ども像に迫っていきけるように支援していきたい。

わたしたちは、国語力を学習指導要領国語科の目標に掲げられている「国語を適切に表現し正確に理解する能力」や「伝え合う力」であると考えている。

子どもたちがこのような国語力をつけるためには、単元学習が有効であると考えている。単元学習とは、単元全体を貫く教師にも子どもにも先の見通せるテーマを設定し、子どもたちの追求エネルギーを持続させ、工夫しながらその単元の学習を展開していくことである。その中で、子どもたちは、主体的な動機に基づいて活動を始め、テーマに沿ってさらに次の活動へと意欲を高めていく。そんな取り組みを通して、研究主題に迫る子どもを育てていきたい。そこで培い鍛えられた国語力は他教科学習の基礎となり、それぞれの教科の特性を生かしながら広く深く学んでいけるのである。

また、道徳教育・人権（同和）教育・特別支援教育・他領域においても、自己を見つめる力や他者の立場や心を想像する力、周りの人々との人間関係を豊かにする力の礎となり、欠かすことのできない人間形成の基礎に通じるものと考えている。

このように、生きる力としてはたらく国語力を基礎におき、子どもの感性を磨き豊かな心情を育むことで、価値あるよりよい生き方ができる子どもに育てていきたい。そうすれば、変化の激しいこれからの社会に対応して学び、生起する問題を捉えて解決していく能力も育つ筈である。

以上のような観点から、主題を「よりよい生き方を目指して主体的に学び活動する子どもの育成」と設定した。